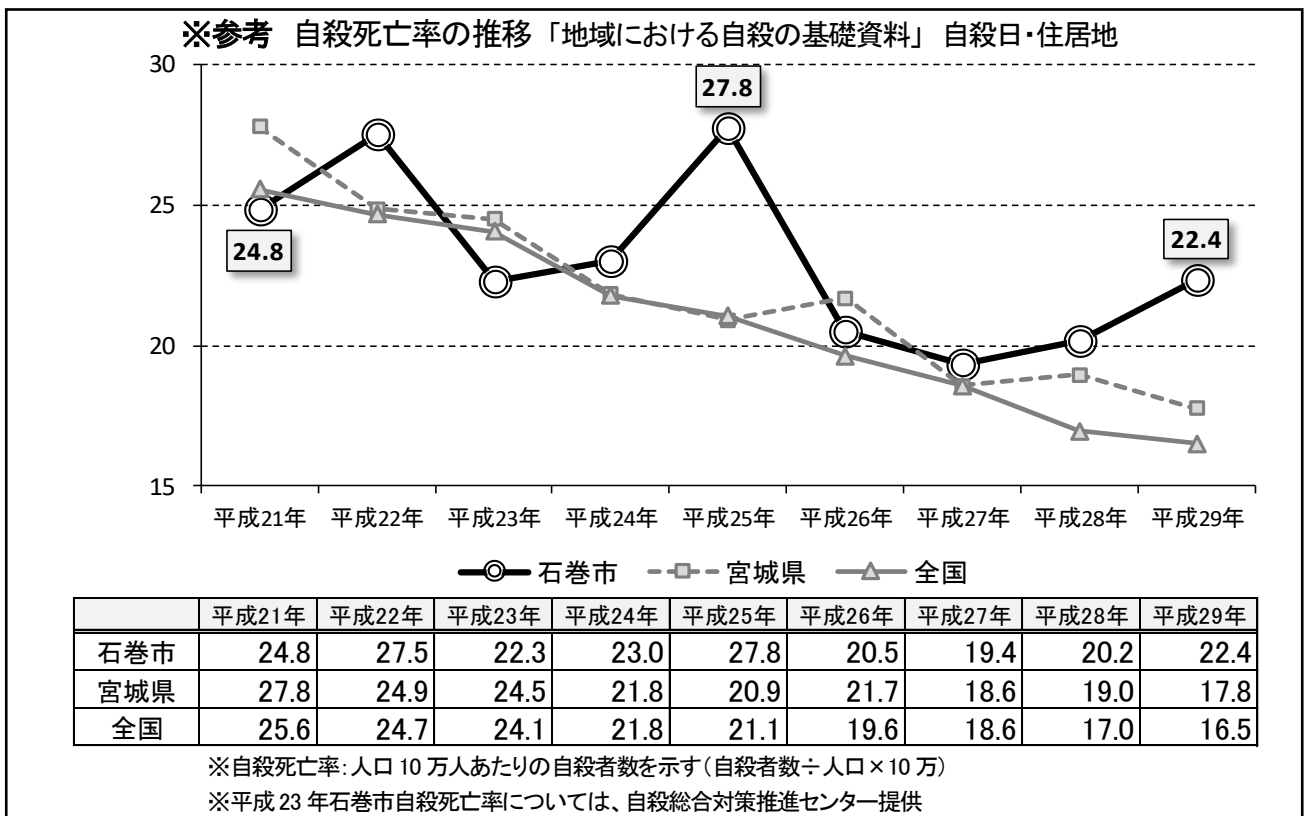
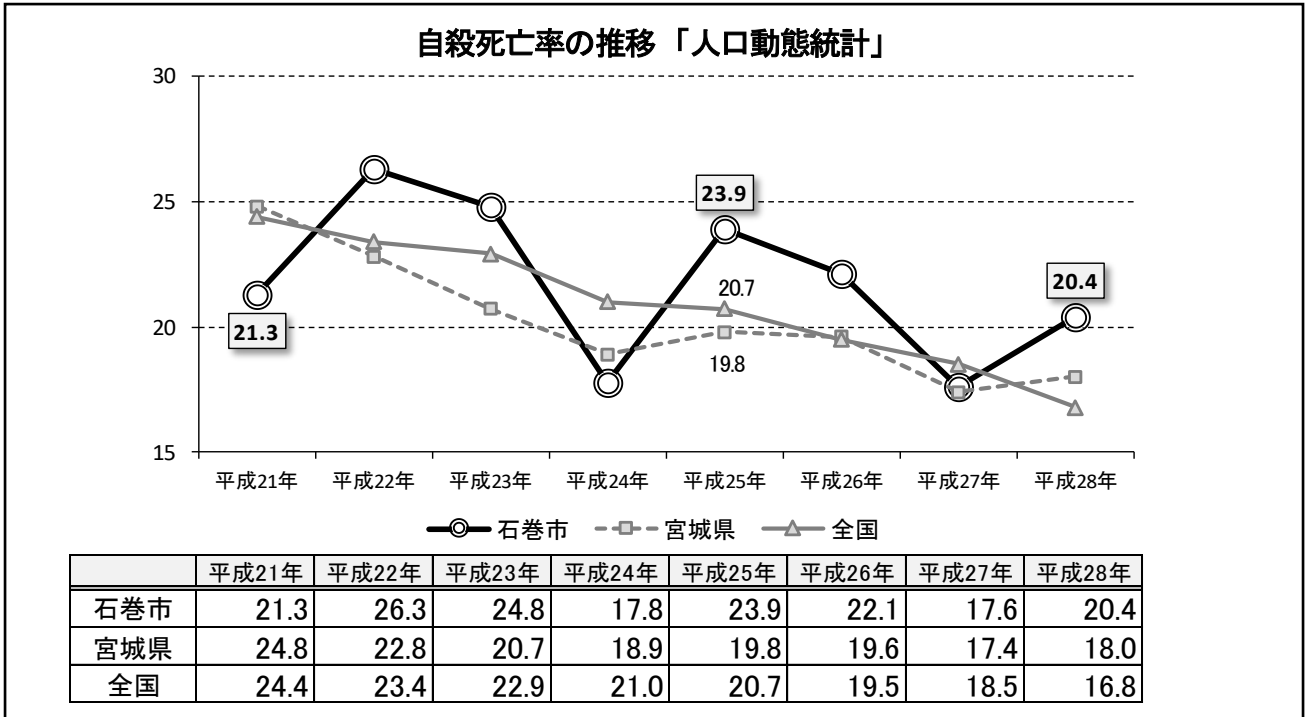


第2章 石巻市の現状と課題

第2章 石巻市の現状と課題

1 自殺死亡率の推移

国及び宮城県の自殺死亡率は長期的にみると減少傾向ですが、本市の自殺死亡率は、東日本大震災後2年が経過した平成25年に23.9となっており、全国（20.7）や宮城県（19.8）と比べ高い水準を示しています。平成26年、27年と減少に転じたものの、平成28年からは増加傾向となっています。



「人口動態統計」と「地域における自殺の基礎資料」の違い

本計画の自死の統計資料は、「人口動態統計」と、「地域における自殺の基礎資料」の両方を使用するとともに、自殺者数と自殺死亡率の2種類の値を参照しました。なお、両者の統計には下記のとおり捉え方に違いがあります。

	人口動態統計	地域における自殺の基礎資料 (警察庁 自殺統計を基に厚生労働省自殺対策推進室が作成)
対象者	日本における日本人	日本における外国人を含む総人口
調査時点	住所地を基に死亡時点で計上したもの	自殺死体発見時点(正確には認知)で計上した警察庁自殺統計原票を基に、自殺日・住居地等で再集計したもの
事務手続き上(訂正報告)の差異	自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明の時は、自殺以外で処理しており、死亡診断書等について作成者から自殺の旨訂正報告がない場合は、自殺に計上しない。	捜査時等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成して計上する。

2 年代別にみた死亡原因の状況

本市の年代別死因順位をみると、国・県と同様に、10代から30代までの死因の第1位が「自殺」となっています。

石巻市年代別死因順位(平成24~28年合計)

	1位	2位	3位	4位	5位
~10歳	不慮の事故	悪性新生物	-	-	-
10代	自殺	不慮の事故	悪性新生物	肺炎	-
20代	自殺	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	-
30代	自殺	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	脳血管疾患
40代	悪性新生物	自殺	心疾患	不慮の事故	脳血管疾患
50代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	自殺	不慮の事故
60代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	不慮の事故	肺炎
70代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
80代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰
90代	心疾患	老衰	悪性新生物	肺炎	脳血管疾患
100代	老衰	心疾患	肺炎	脳血管疾患	悪性新生物

※衛生統計年報(人口動態統計編)統計年表第15表

3 石巻市の自死の特徴

(1) 性・年代別にみた状況

性・年代別に本市の自殺者割合をみると、男性では「30歳代」(13.2%)と「50歳代」(13.8%)などにおいて全国よりもやや高くなっています。女性では「40歳代」(6.0%)、「50歳代」(5.4%)、「70歳代」(6.6%)などで全国よりもやや高くなっています。

20～50歳代の男性有職者の自殺者数が多く、その危機経路は職場における人間関係の悩みや過労からうつ状態を経て自死に至ることが多いとされています。

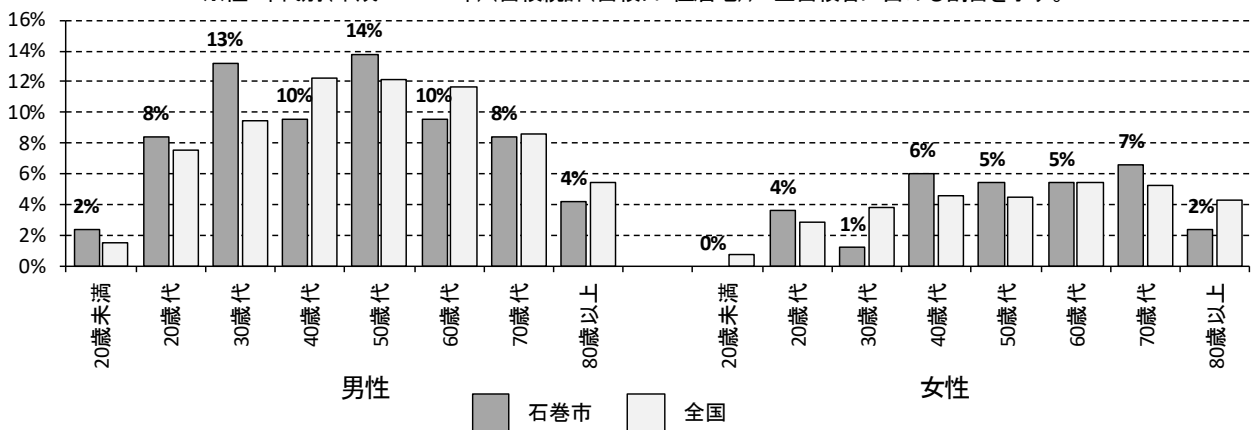
自殺者数の推移

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	合計	平均
自殺統計 自殺者数(自殺日・住居地)	35人	42人	31人	29人	30人	167人	33.4人
自殺統計 自殺率(自殺日・住居地)	23.0	27.8	20.5	19.4	20.2	-	22.2
人口動態統計 自殺者数	27人	36人	33人	26人	30人	152人	30.4人

出典:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル(2017)」

性・年代別の自殺者割合

※性・年代別(平成24～28年)(自殺統計(自殺日・住居地)) 全自殺者に占める割合を示す。



出典:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル(2017)」

付表 自殺者の性・年代別割合(平成24～28年合計)

		自殺者割合	
		石巻市	全国
総数		100.0%	100.0%
男性		69.5%	68.9%
女性		30.5%	31.1%
男性	20歳未満	2.4%	1.5%
	20歳代	8.4%	7.5%
	30歳代	13.2%	9.5%
	40歳代	9.6%	12.2%
	50歳代	13.8%	12.1%
	60歳代	9.6%	11.7%
	70歳代	8.4%	8.6%
	80歳以上	4.2%	5.4%
女性	20歳未満	0.0%	0.7%
	20歳代	3.6%	2.8%
	30歳代	1.2%	3.8%
	40歳代	6.0%	4.6%
	50歳代	5.4%	4.5%
	60歳代	5.4%	5.4%
	70歳代	6.6%	5.2%
	80歳以上	2.4%	4.3%

※集計は自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル(2017)」より抜粋しており、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。

本市の平成24～28年の自殺者数は合計 167人（男性116人、女性51人）となっています。（自殺統計（自殺日・住居地））

自死の特徴を4つの条件（性別、年齢、職業・同居人の有無）で区分し、上位5区分までを示しています。

石巻市の主な自死の特徴(特別集計(自殺日・住居地、平成24～28年合計))

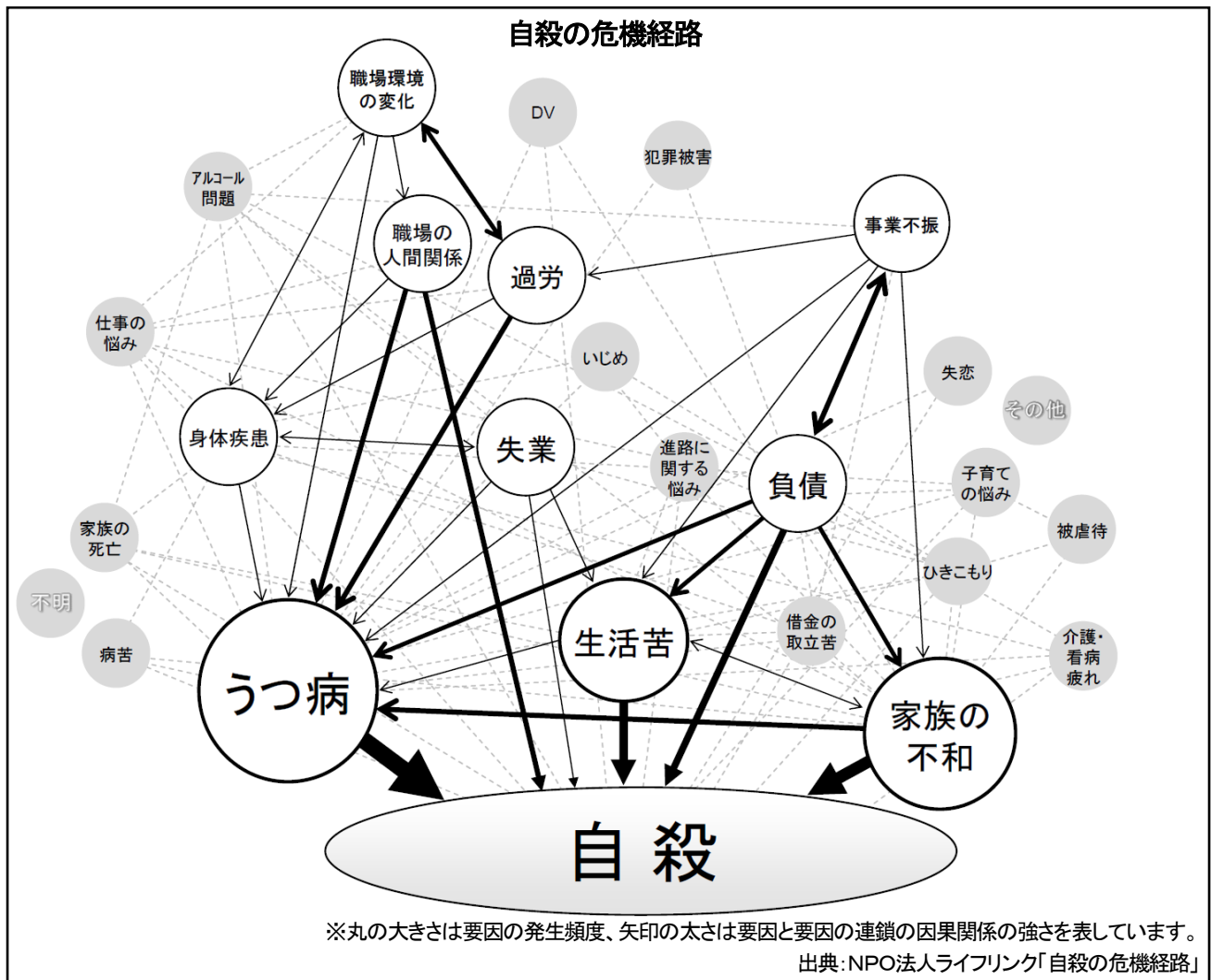
上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路の例**
1位:男性 60歳以上無職同居	23	13.8%	37.6	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:女性 60歳以上無職同居	19	11.4%	17.2	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:男性 40～59歳有職同居	17	10.2%	23.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位:女性 40～59歳無職同居	13	7.8%	30.7	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
5位:男性 20～39歳有職同居	13	7.8%	23.9	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さに基づき、自殺者数が同数の場合は自殺率の高い順となっています。

* 自殺率の母数(人口)は平成27年国勢調査をもとに自殺総合対策推進センターにて推計しています。

**「背景にある主な自殺の危機経路の例」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考にしたもので、危機経路を典型的に例示しているものです。

出典:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロフィール(2017)」



(2) 有職者の自死の状況

「自営業・家族従業者」の自殺者割合は34.9%で、全国割合の21.4%よりも高い割合となっています。

有職者の自死の状況(特別集計(自殺日・住居地(平成24～28年合計))

※性・年齢・同居の有無の不詳を除く。

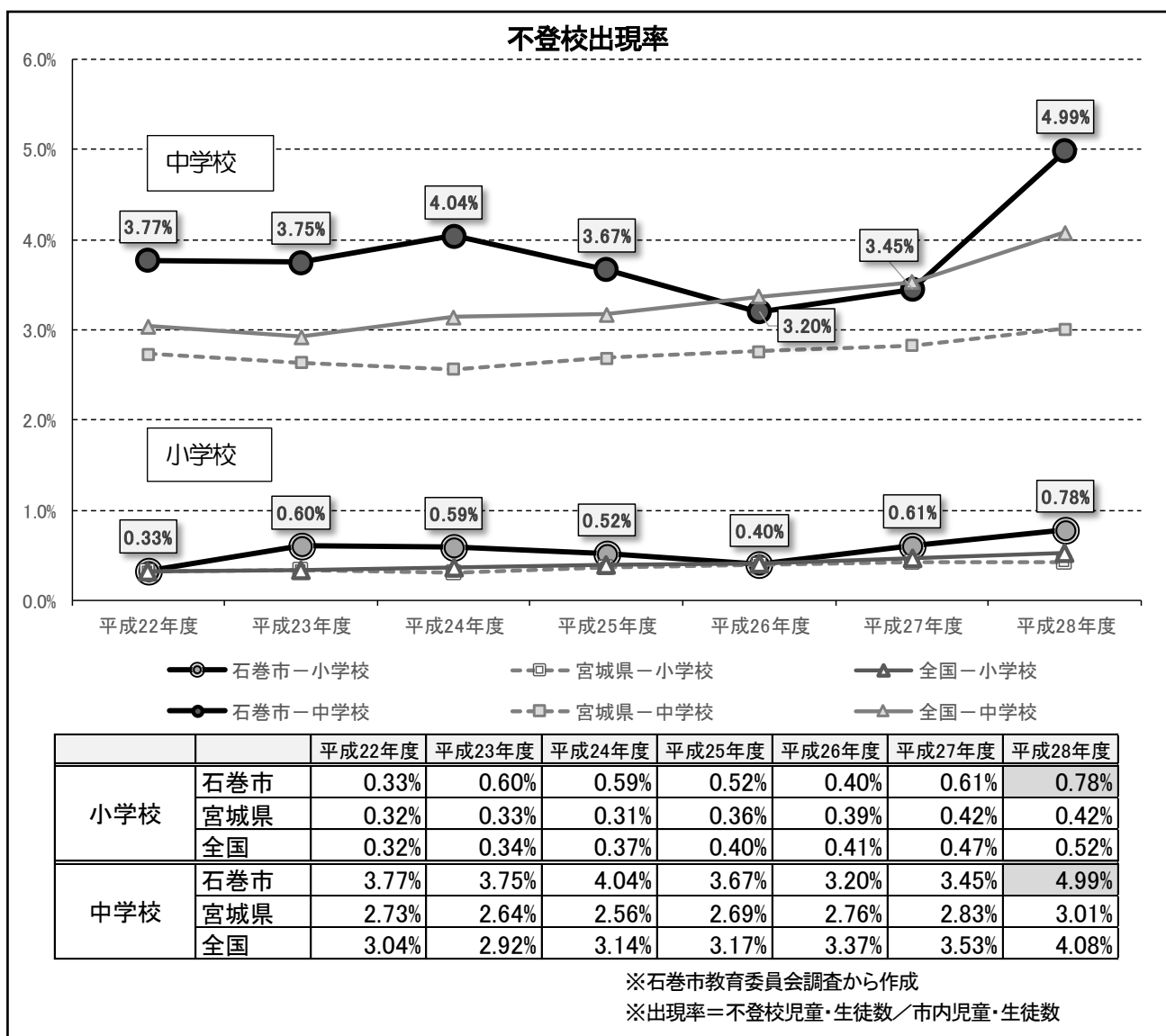
職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	22人	34.9%	21.4%
被雇用者・勤め人	41人	65.1%	78.6%
合計	63人	100.0%	100.0%

出典:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロフィール(2017)」

4 その他の現状

(1) 不登校の状況について

市内の小中学校の不登校出現率をみると、全国、宮城県と比べても、不登校出現率が高くなっており、特に中学校の出現率が高い状況にあります。



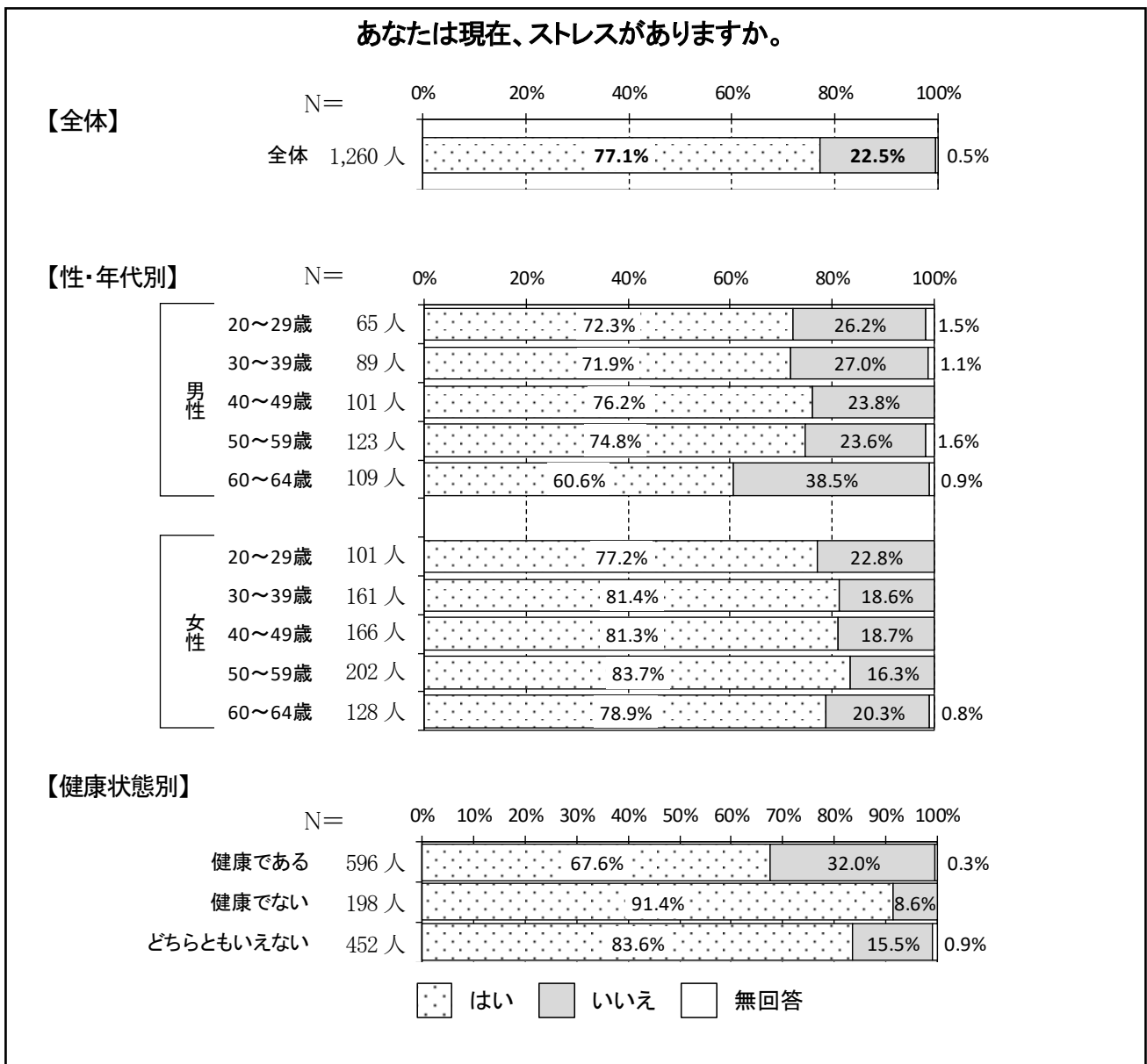
(2) 市民健康調査結果からみたストレス等の状況

対象者：20歳から64歳までの市民(住民基本台帳による無作為抽出)
 調査期間：平成27年11月24日から平成27年12月18日まで
 調査方法：郵送による配布・回収
 回収結果：配布数2,980通、有効回答数1,260通、有効回答率42.3%
 ※平成28年3月第二次石巻市健康増進計画策定に係る市民健康調査資料「E心の健康」より抜粋

1) 性・年代別にみたストレスの状況

ストレスの有無については、「はい(ストレスがある。)」が77.1%、「いいえ(ストレスがない。)」が22.5%となっています。

また、健康状態別で見ると、「健康でない」と答えた層で「はい」が約9割と高くなっています。



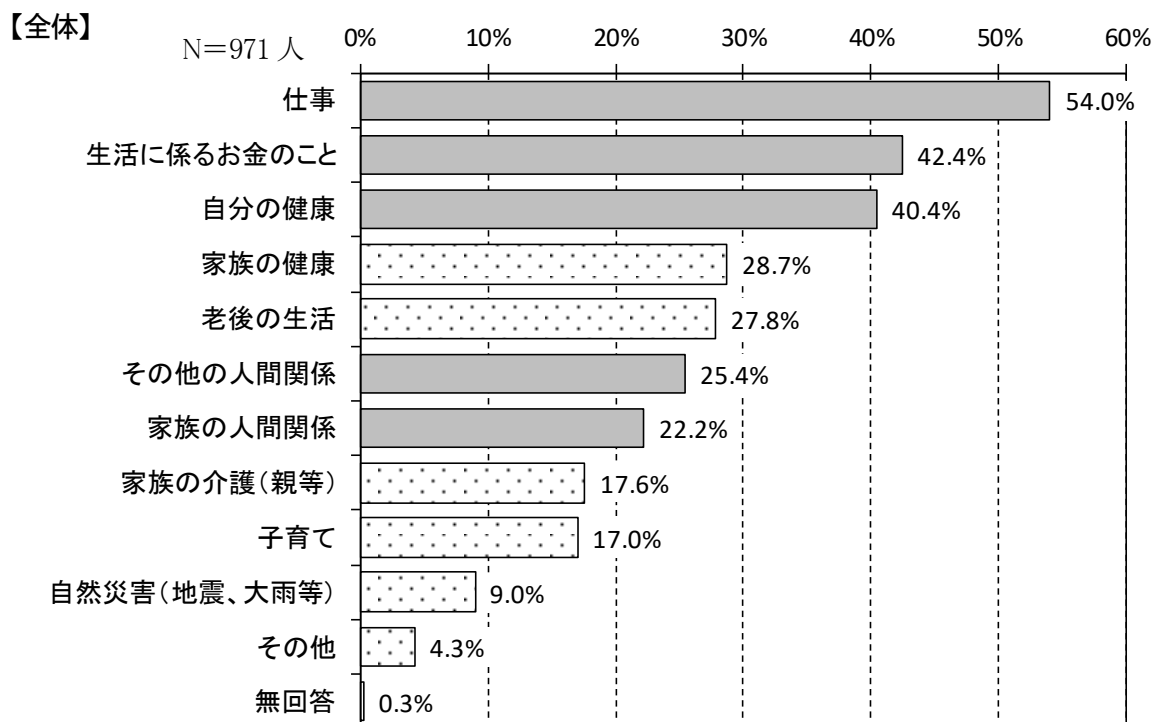
※集計は小数点以下第2位を四捨五入していますので、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。

2) 日常生活の中での悩みや不安の状況

悩みや不安の内容については、「仕事」が54.0%と最も高く、次いで「生活に係るお金のこと」が42.4%、「自分の健康」が40.4%となっています。また、「家族の人間関係」が22.2%、「その他の人間関係」が25.4%となっており、人間関係について悩みを抱えている人が4割強となっています。

年代別で見ると、20歳～50歳代で「仕事」が高くなっています。年代が上がるほど「自分の健康」「家族の健康」「老後の生活」が高くなる傾向がみられます。また、30歳～39歳で「子育て」が33.3%、50歳～59歳で「家族の介護（親等）」が30.8%と高くなっています。

日常生活の中でどのような悩みや不安を感じていますか。



【年代別】

	有効回答数	自分の健康	家族の健康	子育て	家族の介護(親等)	仕事	生活に係るお金のこと	老後の生活	家族の人間関係	その他の人間関係	自然災害(地震、大雨等)	その他	無回答
全体	971件	40.4%	28.7%	17.0%	17.6%	54.0%	42.4%	27.8%	22.2%	25.4%	9.0%	4.3%	0.3%
20～29歳	125件	30.4%	15.2%	16.8%	8.0%	64.8%	44.0%	8.8%	23.2%	32.8%	4.8%	8.8%	—
30～39歳	195件	31.8%	22.6%	33.3%	10.8%	57.4%	42.6%	16.4%	28.2%	26.2%	6.7%	3.1%	0.5%
40～49歳	212件	36.8%	25.5%	27.4%	12.7%	60.8%	50.0%	19.8%	24.1%	26.4%	8.5%	1.4%	0.5%
50～59歳	263件	46.0%	36.9%	6.1%	30.8%	52.1%	40.7%	42.6%	18.3%	26.2%	11.8%	4.2%	—
60～64歳	168件	53.0%	38.1%	1.8%	18.5%	35.1%	33.9%	41.1%	18.5%	16.1%	10.7%	6.0%	0.6%

※ストレスの有無について、「はい(ストレスがある。)」と回答した回答者に限定されます。

(3) 被災者の健康状況について

平成29年度石巻市復興公営住宅入居者健康調査の概要

復興公営住宅入居者訪問健康調査(市独自調査)

対象者：復興公営住宅入居者(入居1～2か月後)、対象世帯数=809世帯

調査方法：訪問調査

回収結果：調査世帯数=683世帯(回収率84.4%)、調査人数=1,264人

災害公営住宅入居者健康調査(県と市の共同調査)

対象者：災害公営住宅入居者(入居1年経過した世帯)、対象世帯数=2,612世帯

調査方法：郵送による配布・回収

回収結果：調査世帯数=1,592世帯(回収率60.9%)、調査人数=2,694人

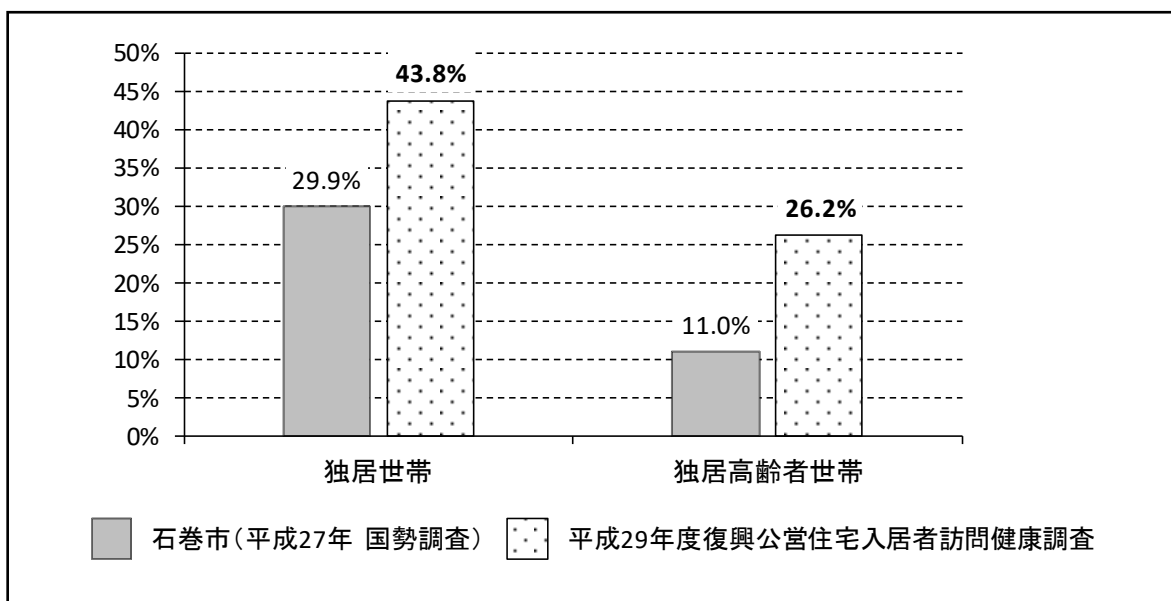
<健康調査の名称の違いについて>

いずれも本市の復興公営住宅入居者に対する健康調査ですが、宮城県が実施する調査の名称は「災害公営住宅入居者健康調査」を用いています。

健康調査結果のポイント

1) 平成29年度復興公営住宅入居者訪問健康調査結果からみたポイント

○独居世帯の割合が本市の独居世帯の割合と比較しても高く、独居高齢者世帯の割合も2倍以上高くなっています。独居・2人暮らしの割合は約8割となっています。



○65歳以上の入居率が高くなっています。

・入居1～2か月後の訪問健康調査結果では、65歳以上の入居率が本市の高齢化率と比較しても高い割合を示しています。

○無職者の割合が高くなっています。

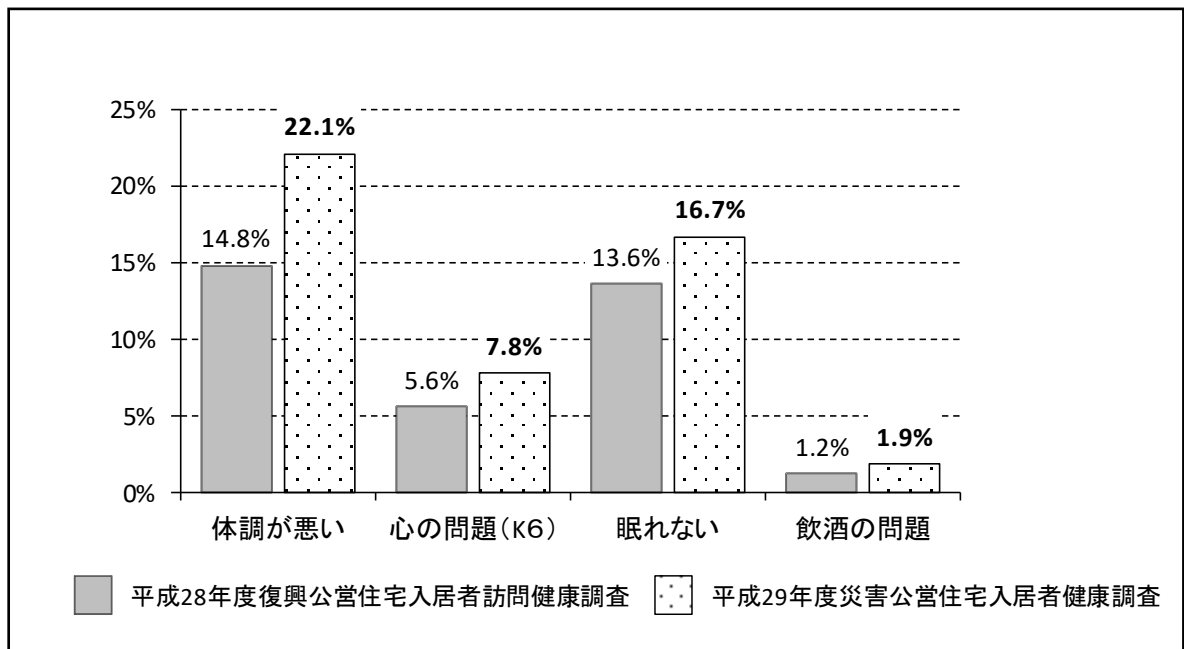
・「無職」は約4割で、そのうち約2割が15～64歳の生産年齢の無職者となっています。

2) 平成 28 年度復興公営住宅入居者訪問健康調査結果と平成 29 年度災害公営住宅入居者健康調査との比較からみたポイント

※()内は平成 28 年度数値を表記

○入居1年以上経過すると、体調面や心の状態等に悪化傾向がみられます。

- ・入居1年以上経過後は、「体調がよい」が77.8%(85.3%)と低く、「体調が悪い」が22.1%(14.8%)と高くなり入居の経過とともに体調が悪化している傾向がうかがえます。
- ・「心の問題 (K6 : 13点以上)」が7.8%(5.6%)と抑うつ状態の方が増加し、「眠れない」16.7%(13.6%)、「飲酒の問題」1.9%(1.2%)といずれも増加傾向にあります。



○入居の経過とともに「病気がある人」の割合が増加しています。

- ・入居1年以上経過すると「病気がある人」が64.0%(59.5%)と高く、特に高血圧や糖尿病等の生活習慣病が上位を占めています。また、1年前と比較して体重増加が19.5%(13.9%)と増加しており、生活習慣病重症化のリスクも高くなっています。

○入居の経過とともに「行事への参加なし」の割合が減少し、交流している割合が増加しています。

- ・入居1～2か月後の健康調査結果では、「行事への参加なし」は73.5%と高くなっていましたが、入居1年経過すると「行事への参加なし」が61.3%と減少し、交流が始まっていることがうかがえます。

○「相談相手がいない」の割合が増加しています。

- ・「相談相手がいない」については、20.4%(14.6%)と増加しています。

平成29年度災害公営住宅健康調査及び平成28・29年度復興公営住宅入居者健康調査結果比較

項目	平成28年度 復興公営住宅 (市独自)	平成29年度 災害公営住宅 (県と市共同)	平成29年度 復興公営住宅 (市独自)
	石巻市	石巻市	石巻市
対象世帯数	1,694世帯	2,612世帯	809世帯
回答世帯数	1,373世帯	1,592世帯	683世帯
回答人数	2,411人	2,694人	1,264人
回収率	81.1%	60.9%	84.4%
調査項目	入居1～2か月後 訪問健康調査	入居1年以上経過した 世帯郵送配付回収	入居1～2か月後 訪問健康調査
1世帯あたりの平均人数	1.76	1.69	1.85
1人・2人世帯	1,140 (83.0%)	1,315 (82.6%)	555 (81.3%)
内)1人世帯	703 (51.2%)	762 (47.9%)	299 (43.8%)
内)2人世帯	437 (31.8%)	553 (34.7%)	256 (37.5%)
独居高齢世帯	444 (32.3%)	487 (30.6%)	179 (26.2%)
65歳以上	1,093 (45.3%)	1,373 (51.0%)	594 (47.0%)
無職者	1,158 (48.6%)	1,123 (44.1%)	551 (44.5%)
内)15～64歳無職者	281 (26.9%)	269 (24.0%)	150 (25.8%)
要介護認定者(65歳以上)	190 (17.4%)	273 (19.9%)	103 (17.3%)
介護サービス有り	149 (78.4%)	193 (70.7%)	76 (73.8%)
障害者手帳有り	221 (9.2%)	250 (9.3%)	96 (7.6%)
体調がよい者	2,014 (85.3%)	2,028 (77.8%) ↓	1,052 (84.6%)
内)大変よい	461 (19.3%)	402 (15.4%)	239 (19.2%)
内)まあよい	1,580 (66.0%)	1,626 (62.4%)	813 (65.4%)
体調が悪い者	353 (14.8%)	576 (22.1%) ↑	192 (15.4%)
内)とても悪い	35 (1.5%)	66 (2.5%)	19 (1.5%)
内)あまりよくない	318 (13.3%)	510 (19.6%)	173 (13.9%)
病気がある人	1,414 (59.5%)	1,606 (64.0%) ↑	786 (62.9%)
内)高血圧	809 (33.6%)	903 (33.5%)	437 (34.6%)
内)糖尿病	245 (10.2%)	297 (11.0%)	134 (10.6%)
内)心疾患	181 (7.5%)	160 (5.9%)	89 (7.0%)
内)呼吸器疾患	114 (4.7%)	146 (5.4%)	69 (5.5%)
内)がん	114 (4.7%)	142 (5.3%)	57 (4.5%)
内)精神疾患	154 (6.4%)	141 (5.2%)	87 (6.9%)
心の問題(K6:13点以上)	117 (5.6%)	172 (7.8%) ↑	58 (5.3%)
(K6:10～12)	129 (6.2%)	173 (7.8%) ↑	93 (8.5%)
眠れない	327 (13.6%)	451 (16.7%) ↑	173 (13.7%)
飲酒の問題	28 (1.2%)	50 (1.9%) ↑	16 (1.3%)
身体を動かす機会の減少	1,035 (44.6%)	937 (37.6%)	555 (45.9%)
内)とても少なくなった	365 (15.7%)	338 (13.6%)	196 (16.2%)
内)少なくなった	670 (28.9%)	599 (24.0%)	359 (29.7%)
食欲なし	74 (3.1%)	101 (3.7%)	41 (3.2%)
体重減少	172 (7.1%)	334 (12.4%) ↑	132 (10.4%)
体重増加	334 (13.9%)	526 (19.5%) ↑	172 (13.6%)
相談相手がいない	337 (14.6%)	499 (20.4%) ↑	124 (10.3%)
行事への参加なし	1,445 (73.5%)	1,573 (61.3%) ↓	756 (71.3%)
要フォロー者	74 (3.1%)	265 (9.3%) ↑	76 (6.0%)

※平成29年度災害公営住宅入居者健康調査結果の数値は平成29年11月～平成30年2月の実施

※項目ごとに有効回答数が異なる場合があります。

石巻市の人口及び世帯数、高齢者数・高齢化率等(平成30年3月末日現在)

人口	世帯数	1世帯あたりの平均人数	高齢者数	高齢化率
145,386人	61,236世帯	2.37人	46,300人	31.8%

※市政情報 統計書 人口(住民基本台帳による)

石巻市の独居及び独居高齢者の割合

- ・独居の割合:29.9%(16,938人/56,712世帯)
- ・独居高齢者の割合:11.0%(6,211人/56,712世帯)

※平成27年国勢調査

5 現状からみえる課題

(1) 子ども・若者の課題

- 10歳代から30歳代までの死因の第1位が「自殺」となっています。
- 全国・宮城県と比べて、小・中学生の不登校出現率が高くなっています。
- 日常生活における子育ての悩みや不安が多いのは、30歳代と40歳代となっています。

(2) 働き盛り世代の課題

- 働き盛りである30歳代と50歳代男性の自殺者割合が高くなっています。
- 「自営業・家族従業者」の自殺者割合は34.9%（平成24～28年の合計数）で、全国割合の21.4%よりも高くなっています。
- ストレスの有無については、77.1%の方が「はい（ストレスがある。）」と答えています。
- 悩みや不安の内容については、「仕事」が54.0%と最も高く、次いで「生活に係るお金のこと」が42.4%と高くなっています。「家族の人間関係」が22.2%、「その他の人間関係」が25.4%となっており、人間関係について悩みを抱えている人が4割強となっています。年代別でも、20歳～50歳代で「仕事」が高くなっています。

(3) 被災者の課題

<平成29年度石巻市復興公営住宅入居者健康調査概要より>

- 独居世帯の割合（43.8%）が本市の独居世帯割合（29.9%）と比較しても高く、独居高齢世帯の割合（26.2%）も2倍以上高くなっています。
- 無職者の中で約2割が15～64歳の生産年齢となっています。
- 入居の経過とともに、体調面や不眠、抑うつ状態等が悪化傾向にあります。また、「相談相手がいない」割合が増えています。

それ、

コ コ □ と イ ノ 子 の
サイン かも・・・

